北海道建設新聞

2010年(平成22年)12月15日(水曜日) 道北・空知 (14)

ゼストシステム

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞に

間伐材利用促進などCO_2削減で

【旭川】ゼストシステム(本社・東神楽、安井文期社長)の「間伐材利用促進と植林代行システムによるCO_2削減」がエコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞、エコサービス部門)に選ばれ、9日、東京ビッグサイトで開かれた環境展示会「エコプロダクツ2010」のステージで表彰された。

エコプロダクツ大賞は、地球・人間環境フォーラムなど4団体で構成する同賞推進協議会(会長・森島昭夫名古屋大名誉教授)が環境負荷の低減に配慮した製品・サービスの普及・促進を目的に実施している。エコプロダクツ部門、エコサービス部門の2部門、それぞれに大賞、優秀賞、奨励賞があり、2004年度から表彰を行っているが、ゼストシステムの受賞は道内企業で初めて。

表彰式が行われたエコプロダクツ2010は、9日から11日までの日程で開かれ、約18万3000人(主催者発表)が来場した。

ゼストシステムの「間伐材利用促進と植林代行システムによるCO_2削減」は、安全掲示板など対象商品を利用したユーザーにエコポイントを付与し、ポイント分をユーザーに代わって植林する「植林プロジェクト」で、08年度から展開している。

対象商品は間伐材を利用した木製製品であるため金属や合成樹脂製品と比べて製造時のエネルギー消費が少なく、環境に優しい。この商品を工事現場などで使ってもらい、さらに代行植林でユーザーがCO_2吸収にも貢献できる仕組みとしている。

本年度は、国土交通省の新技術情報提供システム(NETIS)にも「間伐材を利用した木製掲示板(製造時と植林システムによるCO_2削減)」として登録された。

今回の表彰について、安井社長は「環境への取り組みが認められて大変うれしい。NETISの登録とともに、今回の受賞は営業の大きな力になる。特に、昨年営業所を開設した関東では、会社の知名度が低く商品を認めてもらうのに苦労してきたので強力な武器になる」と喜びを表した。

表彰状を手にした安井社長(右)と田村洋輔課長